

# Japan association for International Secretarial Studies Newsletter No.13

## 日本国際秘書学会

JAISS 日本国際秘書学会 (June, 2001) 発行

### 第10回研究大会——9月1日(土)に神戸で開催

個別報告とミニシンポジウム

統一論題「ICT (情報通信技術) 時代における秘書のコミュニケーション」

日本国際秘書学会は1992年6月13日に設立され、同年12月に大手前女子大学(現・大手前大学)で第1回研究大会が開催されて以来、本年9月1日で第10回の研究大会を開催の運びとなりました。毎回、会員間の切磋琢磨の場として大いに役立ってきましたが、隣接学会の研究者や実務家を迎えて最先端のテーマを取り上げるミニシンポジウムは、とりわけ高い評価を得ています。

今大会では、思考とコミュニケーションのための道具である「コトバ」のもつ力を再認識し、ICT時代にこそ重要性を増す秘書のコミュニケーションについて考えます。熱い議論への積極的なご参加をお待ちしています。

なお、研究大会後の懇親会はたそがれの神戸のエキゾチックな雰囲気  
なかで開催します。ぜひご歓談を! (大会準備委員会)

#### 会員総会 (招集通知)

2001年(平成13)度の会員総会を下記の要領で開催  
いたします。ぜひご出席ください。

記

日時 2001年9月1日(日)・・・研究大会の間  
場所 兵庫県学校厚生会館7階大会議室  
議題 2000年度事業報告および決算報告  
役員改選(選挙結果の承認)  
2001年事業計画と予算  
その他



#### 新役員に立候補を!

ことは役員改選の年です。2000年度総会で選挙管理規則が  
制定され、初めての公選が行われます。詳細は、選挙管理委  
員会からお知らせします。

#### 新入会員 (2001年度=2001年6月～)

田中伸代さん(川崎医療福祉大学)  
佐藤陽子さん(現役秘書)

#### 会員募集

教育研究機関の方か実務家の方かを問わず、秘書に幅広く関心  
のある方を会員としてお迎えと思います。実務家の方の入会資格は、  
実務経験を研究業績に読み替えて審査させていただきます。ぜひお  
誘いください。手続きについては、遠慮なく下記の本部事務局あて  
にお問い合わせください。

#### 事務局移転

本部事務局が、2001年4月から大阪学院短期大学へ移転しました。

郵便あて先: 564-8511 大阪府吹田市岸辺南二丁目37-1

大阪学院短期大学 西澤真紀子研究室内

Email: nszw@utc.osaka-gu.ac.jp

Phone: 06-6381-8434(ex. 5046)

Fax: 0797-35-4030

#### 2001年度年会費の納入をお願いします

同封の年会費請求書をお確かめのうえ、2001年度(6月1日か  
ら翌年5月31日まで)の年会費をお納めください。郵便局と  
三井住友銀行から払込ができます。郵便局窓口をご利用の場  
合は同封の振込用紙(濃ピンク色)をお使いください。

~~~~~  
年会費滞納者には選挙/被選挙資格がありませんので、  
ご注意ください。

必見! 日本国際秘書学会の website

<<http://www.nifty.ne.jp/forum/fhisyo/Intersec.html>>

安田礼子会員の「秘書フォーラム」内に自主掲示板が設けられました。

## 理事会・役員会の議事録（抄）

### 2000年度<第3回>理事会

1. 日時 2001年4月25日
2. 審議方法 書面（議案書に議決を回答）
3. 議事
  - 1) 入会希望者について  
田中伸代氏（川崎医療福祉大学）の入会を承認した。
  - 2) 退会希望者について  
次の会員の2000年度末退会を承認する。ただし、現職理事である山口幹雄会員については、会則により理事の任期が新年度総会まで継続するため、2001年度総会後の退会とする。  
石井真美：常磐会短期大学（非常勤講師辞職のため）  
久下沼篤：茨城工業高等専門学校（定年退職のため）  
田中武雄：武蔵野女子大学（定年退職のため）  
寺村絵里子：民間企業（一身上の都合）  
原川かず江：富士フェニックス短期大学（勤務先の閉学に伴い転職のため）  
山口幹雄：聖徳大学短期大学部（定年退職のため）
  - 3) 第10回研究大会の企画について（略）
  - 4) 役員改選について  
2001年会員総会当日をもって役員約半数の任期が満了となるので、2000年度の会員総会で成立した選挙管理規則により6月半ばまでに選挙管理委員会を設ける。規則により選挙管理委員は、各支部から1名ずつ選ばれた3名で構成することになっている。理事は「半舷上陸」制になるので、任期3年以内の現理事である西澤、福原、吉本各会員を理事会として理事に推薦する。

### 2001年度<第1回>理事会兼役員会

1. 日時 2001年6月10日（日）14時～17時
2. 場所 東京国際フォーラム5階（G506）
3. 出席者〔理事〕大石繁、小林通、西澤眞紀子〔議長〕、福原英子、廣田傳一郎（委任状）加藤政治郎、福間眞樹、山口幹雄、吉本寛〔幹事〕荒川恵美子、大津洋子、黒田廣美、仁平征次
4. 議事
  - 1) 入会希望者の審査
    - ① 入会申込書が提出されていた佐藤陽子氏の入会資格について審査の結果、入会を承認した。
    - ② 従来、入会のための学歴資格は4年制大学卒以上を要することとしてきたが、幅広い人材を会員として迎えるため、入会資格要件としての学歴および研究業績に関する内規を設けて、次のとおり実務経験を学歴・研究業績に読み替えることとした。
      - ・4年制大学卒業以上の学歴で研究業績がない場合は、実務経験3年以上であること。
      - ・短期大学卒業の場合は、実務経験5年以上であること。
      - ・高校卒業の場合は、実務経験7年以上であること。
  - 2) 2000年度事業報告・決算報告
    - ① 事業報告——会長から2000年度の実務報告が行われ承認された。
    - ② 決算報告——会計担当理事の福原理事から収支の概要について報告され、承認された。
    - ③ 研究大会の会計の取り扱いについて審議の結果、2000年度から特別会計とすることに決した。第9回研究大会で生じた余剰金は、研究大会専用の郵便貯金口座に入金し、第10回以降の研究大会開催資金として用いることとした。
  - 3) 2001年度事業計画・予算
    - ② 事業計画——会長から2001年度の実務計画が提出され承認された。原則的に例年どおり。
    - ② 予算——2000年度の決算を踏まえて立案し、総会までに理事会に諮ることで承認された。
  - 4) 役員改選
    - ① 推薦理事の決定——重任可能な次の現理事：西澤眞紀子、福原英子、吉本寛の3名を推薦理事と決した。なお、廣田傳一郎現理事は重任可能であるが、推薦を承引されなかった。慰留に努めたが決意が固く説得できなかった。

- ② 選挙管理委員会の設置——選挙管理規則により支部ごとに各1名の選挙管理委員を選任し、選挙管理委員会を設置して2001年度総会までに役員改選選挙を完了させることを確認した。
- ③ 名誉会員の推薦——2000年度をもって満期退任となる理事のうち、大石繁副会長および加藤政治郎現副会長を、会則により名誉会員に推薦することを決した。
- 5) 支部会の名称変更  
現在の関東支部と関西支部の名称を、実情に合わせて、それぞれ東日本支部、西日本支部と改称するよう、2001年度総会で提案することとした。中部支部は、2000年度に東海支部から改称済みである。
- 6) 第10回研究大会プログラム  
第10回研究大会準備委員会の仁平征次委員長から企画の概要について説明があり、承認された。
5. 報告事項
  - 1) 研究年報第8号は8月下旬に刊行予定である。
  - 2) 事務局が大阪学院短期大学に移転した。

### 名簿記載事項の変更（2000年10月以降）

（個人情報保護のため、以下は省略します）

- ★新しい名簿から連絡先を自宅か所属先のどちらか一方だけ掲載することにします。先日のアンケートにまだ回答されていない方は、研究大会の出欠ハガキに記入してご連絡ください。
- ★発表された新刊書や論文などは、随時ご連絡ください。
- ★ご意見をドシドシ事務局へお寄せください。お待ちしております。